

# 自校の調査結果をチェックしましょう！

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、「3つの見届ける」を徹底しましょう。

《自校の課題として取り上げたい問題》

平均正答率 県 ( %) 自校 ( %)

★課題となっていることの要因や背景

- 1 児童生徒の実態から
- 2 教師の指導から

☆指導上の改善点（見届けの徹底を図るための場や方途）

国語の授業では

## 【平成 28 年度全国学力・学習状況調査の設問と同一、類似問題の正答率】(国語)

問題番号	平成 28 年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			平成 28 年度全国学力・学習状況調査			
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県	全国
小 4	ローマ字で正しく書くことができる。 「あさって」 <small>類似</small>	. %	38.7%	A[8]2	. %	46.0%	41.8%
	書こうとするものの中心をはっきり させて書くことができる。 <small>類似</small>	. %	19.6%	B[3]≡	. %	53.3%	52.9%
	登場人物の人柄について、会話文や地 の文に着目して読むことができる。 <small>類似</small>	. %	71.5%	A[6]	. %	64.0%	63.9%
小 5	ローマ字で正しく書くことができる。 「きっぷ」 <small>類似</small>	. %	39.6%	A[8]2	. %	46.0%	41.8%
	話し手の思いをとらえながら聞き、話の 流れに沿って質問することができる。 <small>類似</small>	. %	73.0%	B[1]≡	. %	50.6%	50.4%
	登場人物の人物像を、複数の表現を基 にとらえることができる。 <small>類似</small>	. %	64.8%	A[6]	. %	64.0%	63.9%
中 2	漢字を正しく読むことができる。 「敬う」 <small>同一</small>	. %	85.2%	A[9] ニ3	. %	79.9%	82.6%
	漢字を正しく書くことができる。 「ドクソウ」 <small>同一</small>	. %	24.3%	A[9] -2	. %	23.2%	26.1%
	古典の仮名遣いを正しく理解している。 「いひける」 <small>同一</small>	. %	82.2%	A[9] 七2	. %	95.2%	94.9%

# 平成 28 年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査 《国語》

## 概要

### 小学校第 4 学年

県平均正答率 71.0%  
 A 問題 75.4%  
 B 問題 64.4%  
 自校平均正答率 [ ]%  
 A 問題 [ ]%  
 B 問題 [ ]%

### 小学校第 5 学年

県平均正答率 69.9%  
 A 問題 77.9%  
 B 問題 58.2%  
 自校平均正答率 [ ]%  
 A 問題 [ ]%  
 B 問題 [ ]%

### 中学校第 2 学年

県平均正答率 68.2%  
 A 問題 68.5%  
 B 問題 67.9%  
 自校平均正答率 [ ]%  
 A 問題 [ ]%  
 B 問題 [ ]%

## こんな成果がみられました

### <小学校>

◆国語辞典を活用した指導の成果が表れています。

#### ■この指導が掲載されている資料

- 「子どもの目線に立つ2016 第1弾」  
(平成28年5月)
- 「これだけはこの子も！学プリ第1弾」  
(国語辞典・漢字辞典の使い方)  
(平成28年7月)
- 平成28年度指導改善説明会  
学校支援課説明資料  
(岐阜県総合教育センターHP掲載)

#### ■平成 28 年度県学習状況調査の結果から

- ◆小学校第 4 学年 四 (ことわざ「ねこにこぼん」)  
県 72.3% 自校 %
- 六 (国語辞典・見出し順)  
県 77.6% 自校 %
- ◆小学校第 5 学年 四 (国語辞典・見出し語)  
県 94.8% 自校 %
- 五 (漢字の成り立ち)  
県 78.1% 自校 %

#### ■過去の類似問題の結果から

- H26 全国調査 小学校 A[2] (故事成語)  
一 国 55.8% 県 43.5% 自校 %  
二 国 49.9% 県 49.5% 自校 %
- H27 岐阜県の学習状況調査  
◆小学校第 4 学年 七 (国語辞典・見出し順)  
県 73.1% 自校 %
- ◆小学校第 5 学年 四 (国語辞典・見出し語)  
県 71.6% 自校 %

### <中学校>

◆根拠を示して自分の考えを書く指導の成果が表れています。

#### ■この指導が掲載されている資料

- 「子どもの目線に立つ2016 第1弾」  
(平成28年5月)
- 平成28年度指導改善説明会  
学校支援課説明資料  
(岐阜県総合教育センターHP掲載)

#### ■平成 28 年度県学習状況調査の結果から

- ◆中学校第 2 学年  
三 (記述) 県 78.7% 自校 %  
四 (考えの形成) 県 81.3% 自校 %

問題【三】  
山本さんの【職業ガイド】内の【B】にはどんな一文を書くとよいでしょうか。次の【整理した情報】を読み、【条件】にしたがって書きなさい。  
【整理した情報】野生の海鵜を使う。→ 鵜を三年かけて訓練する。→ 鵜を操って魚を捕る。  
【条件】①見出しの「鵜飼は、」で始めて「という話です。」につなげる。②整理した情報をすべて用いる。③二十字以内、三十字以内で書く。

#### ■過去の類似問題の結果から

- H27 岐阜県の学習状況調査 三 (記述)  
県 44.4% 自校 %
- H28 全国調査 中学校 B[2] (自分の考えの形成)  
国 64.9% 県 68.2% 自校 %

学校質問紙「辞書を引き、文脈の中で語句の意味を考えさせるなど、漢字や語句の正しい理解を図る指導をしている」

【小学校】 89.4%

【中学校】 96.1%

(①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」の合計)

各学校において、国語辞典を活用した語彙指導が進んでいます。

漢字

漢字の「意味」を理解し、正しく用いる力を身に付ける指導を充実させていますか。

調査結果 設問及び平均正答率

- ◆小学校第4学年
  - 四 漢字・書き「寒い季節が始まる」 県 52.2% 自校 %
    - ※「寒」の下半分を左右逆に書くなど、字体を正しく理解していない誤答がありました。
- ◆小学校第5学年
  - 三 漢字・書き「図書館で本を借りる」 県 67.9% 自校 %
    - ※「借」「貸（か）」という同じ読み漢字が混同し、「貸りる」としている誤答が多くありました。
- ◆中学校第2学年
  - 一7 漢字・書き「今までにないドクソウ的な考えだ」 県 24.3% 自校 %
    - ※「ドクソウ」の文脈上の意味を理解できず、「独奏」「独走」「独想」としている誤答が多くありました。

指導改善のポイント①

【小学校】 学習の中で教材中の語句・漢字を意図的に取り上げ、語意や字義を確かめる指導をしましょう。

昔は地面を焼いて畑を作ったことから、「田」に「火」と書いて「はたけ」という漢字ができました。他にも「田」がついた漢字はないかな。今まで習ったものは—そうだね、田んぼで力仕事をする人、ということから来ている「男」という漢字があったね。

- 「日常でよく用いられる語句・漢字」「誤りやすいと思われる語句・漢字」を教材からピックアップしておき、学習の中で立ち止まって、国語辞典を使って語意や字義を確かめる。
- 語句の意味を調べる際には、似た形の漢字や同訓・同音の漢字に着目して字義を理解させるようにし、語彙を広げる。

【中学校】 書いたり、話したりする言語活動の中で、自ら言葉を選び、使うことができる指導をしましょう。

「淋しい」という言葉と「寂しい」という言葉にはどんな違いがあるのだろう。また、これを「悲しい」とか「哀しい」に置き換えることは可能かな。辞書で意味を調べて考えてみよう。そうしてあなたが選んだ言葉を、理由と共に発表してください。

- 意味を調べるだけでなく、用例を確かめたり、他に置き換えることのできる言葉を確認したりする。
- 教材研究の段階で、「その言葉の意味を理解することによって、解釈の深まりや表現の高まりが期待される言葉を明らかにしておき、授業で意図的に扱う。

他教科でも… 文章を書きまとめたり、調べたりする場において、既習の漢字を用いるよう指導しましょう。

- 書きまとめた文章について、既習の漢字を正しく用いているか見届け、指導しきる。
- 他教科・他領域で、新聞やレポート、ふり返り等を書く際にも、国語辞典を活用させる。

「どの子も学プリ」活用例

- 学年ごとに、増し刷りしたプリントを入れておくコーナーを設置し、児童生徒が自由に家庭学習に使えるようにする。
  - 中学校においても、小学校で学んだ漢字を「書く」ことの習熟を図るため、授業や家庭学習で適宜活用する。
- ※小学校の「学年別漢字配当表」に示されている漢字については、中学校の第2学年までに、文や文章の中で使えるよう習熟を図ることが、学習指導要領に示されています。

有効にご活用ください

漢字指導の充実を図る  
小学校・漢字  
1,006字

どの子も学プリ

- 漢字の読み書きは、全ての学習の「できる・わかる」につながります。
- 漢字の読み書きは、思考力や表現力、コミュニケーション能力を高め、日常生活を楽しめます。
- 漢字の読み書きは、様々な問題を解決する際に生かされ、幸せな未来を創ります。

(平成29年 2月 総務省教育委員会 学校支援課)

吟味

「目的や意図」「場の状況や相手」に即して、意見や考えの内容を吟味する指導を充実させていますか。


調査結果 設問及び平均正答率

- ◆小学校第4学年
  - 八三 書こうとすることの中心をはっきりさせて書くことができる。 県 19.6% 自校 %
    - ※「伝えたいこと」(目的)に即して書きまとめることに課題がありました。
- ◆小学校第5学年
  - 九二 目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書くことができる。 県 39.7% 自校 %
    - ※グラフから、書き手の目的に応じた情報を取り上げることに課題がありました。
- ◆中学校第2学年
  - 四四 本や文章などから複数の情報を集め、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。 県 51.1% 自校 %
    - ※文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を理解することに課題がありました。

指導改善のポイント②

【小学校】 「目的・意図」「場の状況や相手」などを常に児童に意識させた言語活動にしましょう。

- 授業終末に書きまとめる際は、「何のために」(目的)「どのような条件で」(場面・条件)などを全体で確かめてから書く。
- 書きまとめたものは、観点を明らかにして互いに読み合い、評価し合う。




【中学校】 集めた情報を吟味した上で話したり、書いたりする課題解決的な言語活動にしましょう。

根拠となる情報を選び直したり、仲間の意見から異なる見方(立場)を取り入れたりすることで、より説得力のある意見(考え)になったね。あとは、これを効果的に書き表す(話す)ことが大切。

- 「複数の情報(資料)」から、考えの根拠となる情報を吟味し、自ら取捨選択する学習過程を位置付ける。
- 吟味したことによる個の変容を、「定着状況の見届け」時に価値付け、具体的なよさを全体に広める。

他教科でも… 国語で指導した内容、取り扱った言語活動を活用していきましょう。



例) 小学校4年生 国語 「よりよい話し合いをしよう」 → 学級活動、児童会活動等で活用  
 中学校1年生 国語 レポートを書く学習 → 総合的な学習の時間、理科の学習等で活用

—— 「国語で学習したやり方でやってみよう！」の一言を！

「平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」(文部科学省HP)より

【小学校】「自分で課題をもち、活動を報告する文章を書こう」P6

数値や言葉を使って、課題について具体的に記述するために

課題を解決する方法として、自分の考えを記述するために

【中学校】「要望する文章を書こう」P3

学校図書館に置いてほしい図書について、担当の教師に要望する文章を各自で書く。

書いた文章をグループで読み合い、自分の考えや気持ち効果的に伝わる文章になっているかどうかを検討する。

何を要望しているのか、分かりにくいのではないかな。

「科学雑誌を置いてほしい」と思っている人は多い」とあるけれど、「多い」というのは本当なのかな。

必要に応じて、具体的にどのように修正すればよいかをグループで交流する。

自分だけでなく、場のためにもなることを根拠として示すと、担当の先生に納得していただけたと思うよ。